

代表質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月25日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	11分	瀬長 美佐雄(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等

質問要旨

1 安倍政権と継承政権について

(1) 安倍政権は国民・県民に何をもたらしたのか。

- ア 森友学園、加計学園、桜を見る会、検察庁長官定年延長問題、公文書改ざん、隠蔽、忖度政治など、政治の私物化が横行した。法治国家の根本が問われるが、沖縄でも埋立承認撤回を無効化するため、行政不服審査法をねじ曲げ、国が私人に成り済ました。岩礁破碎許可申請を回避するため、漁業権の解釈変更がされたが、県の見解を問う。
- イ アベノミクスは、株主や富裕層の資産を増大させたのではないか。労働者、国民は実質賃金低下や貯蓄も減少し、県内でも非正規雇用者が増えたのではないか。格差が拡大し、破綻した新自由主義経済政策からの転換が求められる。見解を問う。
- ウ 消費税の2度にわたる増税は、安倍政権だけではないか。増税で、沖縄県経済と県民の暮らしは、深刻な影響を受けたと思うがどうか。コロナ禍で経済と生活を支えるため、消費税減税、廃止が効果的な政策と思うが見解を問う。
- エ 米大統領の要請で、戦闘機の爆買いなど、軍事費と思いやり予算等が増え続けているのではないか。コロナ禍の今日、軍事費などを削減しコロナ対策に向けるべきである。見解を問う。
- オ 「敵基地攻撃」は、事実上の先制攻撃であり、憲法をじゅうりんし、国際法違反である。沖縄が戦争の最前線になる心配が増している。憲法を守り、外交交渉で平和構築に努力すべきだ。見解を問う。
- カ 繰り返される米軍関係の事件・事故に歯止めをかけず、日米地位協定改定を求める県議会決議や全国知事会の提言の無視は、主権放棄ではないか。見解を問う。
- キ 安保法制(戦争法)、共謀罪、集団的自衛権行使を可能とする解釈変更など、立憲主義を踏みにじる政治ではないか。基地が集中する沖縄で戦争に巻き込まれる不安が増大していると思うが見解を問う。

(2) 沖縄県民の願いを踏みにじり続けた安倍政治について

- ア 辺野古新基地建設に対し、県民は県民投票などで「反対」の民意を示し続けてきた。新基地建設強行は民主主義国家なのかが問われている。見解を問う。
- イ 菅総理は「辺野古新基地は地元合意を得た」と述べた。事実誤認でないか。事実経過を問う。
- ウ 「沖縄振興と基地問題は、結果としてリンクしている」と菅総理は述べた。沖縄振興法の原点は、苦難の歴史を歩んできた沖縄への「償いの心」ではないか。米軍基地とのリンク論は許せない。見解を問う。
- エ 高校歴史教科書における沖縄戦での集団強制死・集団自決や住民虐殺に、日本軍の関与を削除する「検定意見」がつけられた。超党派で開催した県民大会には、10万人以上が参加した。歴史の改ざんは政府の介入であり、許せない。見解を問う。
- オ 2013年4月28日、安倍政権は政府主催で独立・主権回復祝う式典を開催した。1952年サンフランシスコ講和条約が発効され、沖縄が日本の施政権から切り離された「屈辱の日」であり、式典は沖縄の歴史と県民の思いを踏みにじったのではないか。27年に及ぶ米軍統治下の沖縄はどんな時代だったのか。
- カ 先島への自衛隊配備・ミサイル基地建設強行で、住民の分断を持ち込んだ。戦争の標的になる危険性を高める先島自衛隊基地建設に反対すべきである。平和外交にも逆行

する基地強化への見解を問う。

キ「普天間基地の5年以内の運用停止」の約束を政府は平気で踏みにじっている。見解を問う。

2 次期沖縄振興計画への取り組みについて

- (1) 21世紀ビジョンの総点検の結果と課題を問う。
- (2) 新型コロナ対策や貧困対策及び気候変動、地球温暖化に対応するなど、次期沖縄振興計画における持続可能な開発目標、SDGs推進とコロナ禍での社会づくりが重要になる。台風や大雨など地球温暖化の影響があり、河川整備の基準見直しなどが指摘されている。「気候非常事態宣言」で包括的な行動計画を策定し、地球温暖化防止対策の強化を急ぐべきでないか。
- (3) 国発注の公共工事契約の本土還流の実態はどうなっているか。党県議団は、振興予算が本土に還流する仕組みから脱却し、県内循環型へ転換する必要があると求めてきたが見解を問う。
- (4) 我が党が提起し続けてきた福祉施策や教育の充実、地場産業育成、地域密着型公共工事推進で雇用環境の改善につなげることが、コロナ禍を受けますます重要になってきたのではないか。次期沖縄振興計画での方向性を問う。

3 コロナ感染症から県民の命と暮らしを守り支える予算の活用状況や拡充について

- (1) 5次に及ぶ1000億円を超えるコロナ対策予算について、執行状況を問う。
- (2) うちなーんちゅ応援プロジェクト及び安全・安心プロジェクトの申請状況、給付状況、対象者の適用比率などを問う。漏れなく受けられるようにすべきだ。今後の対応を問う。
- (3) 医療、福祉、障害施設で働く従業員への慰労金給付の進捗状況と今後の取組について伺う。
- (4) 観光業支援の状況、おきなわ彩発見事業などの成果、さらなる支援事業の拡充が必要と思うがどうか。
- (5) 雇用調整助成金、持続化給付金、家賃支援など、継続するため「自粛と一体の補償制度」実現を国に働きかけることについて伺う。

4 辺野古新基地について

- (1) 沖縄県が埋立承認を撤回した(18年8月)理由と県の現状認識、今後の対応と新基地建設阻止への知事の決意を伺う。
- (2) 変更申請は、軟弱地盤を改良する理由やデータ、活断層の存在を無視するなど、承認撤回理由に何ら触れられていない。軟弱地盤は90メートルだが地盤改良計画は、なぜ70メートルなのか。90メートルまで地盤改良する作業船はあるのか。辺野古活断層部に護岸工事をする計画なのか。埋立工事が技術的に可能とする根拠も示せない不十分な申請でないか。
- (3) 埋立土砂や海砂を県内全域から調達することが明らかになった。海砂採取や土砂などの運搬でも環境面の負荷が大きく、SDGsの観点が重要であり、変更申請を認めるべきではない。見解を問う。

5 米軍基地問題について

- (1) コロナ対策について日本政府の責任で感染防止対策を実施させること。
 - ア 基地従業員、出入り業者のPCR検査等を定期的実施させることについて伺う。
 - イ 日米地位協定を改定し、日本の検疫法を直ちに適用させることについて伺う。
 - ウ 米軍基地内感染者の行動履歴、基地外居住者にも対応できる情報を公表させることについて伺う。
 - エ 米原子力空母の乗員・コロナ感染者など3000人以上を普天間基地など県内米軍基地に移送する計画が検討され、今後もあり得る。日本の主権が問われている。米軍感染者の県内移送を拒否すべきだが、見解を問う。
- (2) 有機フッ素化合物PFOA、PFOS等、環境汚染問題の解決に向けた取組状況について
 - ア 4月の普天間基地で発生した泡消火剤流出事故に関し、米兵によるバーベキューが原因と発表された。詳細な報告は受けたか。土壌や水質汚染の調査結果を受け、基地内の環境調査を日米政府に実施させるべきでないか。対応を問う。

6 2022年に延期する第7回世界のウチナーンチュ大会は、復帰50年を記念する事業となるが

検討状況を問う。世界のウチナーンチュセンター(仮称)の検討状況を問う。

代表質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月25日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	12分	西銘 純恵(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

- 1 安倍首相が突然辞任した。7年8か月の安倍政治の内政、外交、コロナ対応などあらゆる面での行き詰まりの結果である。沖縄の民意を無視して強権政治を押しつけてきた、安倍政権を継承した菅新政権に対する知事の所見を伺う。
- 2 コロナ禍の中で県民の健康と暮らし、営業を守り、医療崩壊を防ぐために
 - (1) 現在の感染状況と秋、冬にかけて感染拡大が心配されるが、県の対策と取組が急がれる。対応を伺う。
 - (2) 感染拡大を防止するためにPCR等検査を思い切って拡充すること。エpiセンターやクラスターの起こった施設、事業所、地域は集中的にPCR等検査を行うこと、そのための財政支援を政府に求めること。
 - (3) 集団感染を防ぐために、医療機関、介護や障害等の福祉施設、保育園、こども園、幼稚園や学校などに勤務する職員に定期的にPCR検査を行い、その財政支援を政府に求めること。
 - (4) 病院の医療崩壊を防ぐために、急ぎ政府に減収補填を実現させること。介護や障害、福祉施設の事業が継続できるように、減収分に対して政府の財政支援を急ぐよう要請すること。
 - (5) 無症状や軽症者の保護・隔離のためのホテル等宿泊療養施設の確保のために、政府に十分な財政措置を求めること。
 - (6) 水際対策として、政府の責任で出発地での事前のPCR等検査を実施し、沖縄本島から離島への渡航者も同様に行うこと。
 - (7) コロナ禍と子供の人権、教育保障のために
 - ア コロナ禍の前後を比較して、児童生徒間のいじめ、教師の体罰、不登校、虐待は増加しているという指摘があるが、実態と対応策について伺う。
 - イ 保育園や学校、学童クラブでの感染防止対策や運営の負担増に財政支援を行うこと。
 - ウ コロナの下で40人学級の矛盾が出た。子供たちの学び、心のケア、安全を保障するのに20人程度の少人数学級が必要である。政府の教育再生実行会議が少人数学級の推進の中間答申をしたが、20人学級を推進するためには、あと何教室必要か、あと何人教員が必要になるのか。県として推進すること。
 - エ コロナ対応で人手不足の学校教職員の体制を拡充することについて
 - (8) コロナ禍と女性の人権保障のために
 - ア コロナ禍の中で、女性相談が増えているが、相談内容はどのようなものか。このような状況に対する県の取組を伺う。
 - イ 休業などで在宅している夫によるDVが増えたと指摘されているが、実態はどうか。対応策を伺う。
 - ウ 配偶者の暴力から逃れて暮らす人は県内に何人いるか。世帯主を受取人とした特別定額給付金は漏れなく支給されたのか。ジェンダー平等の立場で、個人単位の給付金にすべきではないか。
 - エ 休業や失業によって、独り親の生活が深刻になっているが、実態はどうか。憲法25条に定めた権利として生活保護を積極的に活用させる取組も求められるがどうか。
 - オ 就業者に占める女性の非正規雇用率及び宿泊・飲食サービス業における非正規率に

ついて。また、コロナ禍における失業状況と支援策を伺う。

3 高齢者の人権保障のために

- (1) 沖縄県の国民年金保険料の納付状況や年金額は全国と比べてどうか、無年金者はどうか。見解を伺う。
- (2) コロナ後においても、介護デイサービス事業所などが休業、閉鎖され、行き場を失った高齢者に対する見回り、安否確認、配食する事業の拡充が重要になると考えるが、市町村と協力した取組や対応策を伺う。
- (3) 高齢者が熱中症などで亡くなった悲しい事件が後を絶たないが、県内ではどうか。
- (4) クーラーの設置されていない生活保護世帯はどれだけあるか。高齢者世帯にクーラー設置と電気料金の扶助を行うことについて

4 中学卒業まで子供の医療費を窓口無料に拡充するための取組状況を伺う。

5 非課税世帯の高校生のバス賃、モノレール料金無料の、通信制を含めての実施内容、対象人数、10月実施の準備状況について

6 子育て支援について

- (1) 県が待機児童解消のために推進した施設整備、入所児童数、保育士の待遇改善など、5年前との比較で伺う。また、今後の拡充計画について。
- (2) 県が推進している学童クラブの公的施設利用と保育料軽減は5年前と比べてどうか。さらに拡充すること。

7 浦添新軍港建設問題について

- (1) 8月4日、県が緊急事態宣言を出した直後に、政府は、浦添軍港を北側案を進めると、米軍の言い分を県や両市に一方的に伝達した。このような米軍言いなりの政府は断じて許せない。知事の所見を伺う。
- (2) 那覇軍港は水深が浅く、大型軍艦の回頭水域はない。那覇軍港の利用状況はどうか、遊休化しているのではないか。
- (3) 浦添新軍港はどういった軍港になるか明らかになっているのか。どんな軍港かも分からないのに一方的な押しつけは乱暴ではないか。
- (4) 遊休化している那覇軍港は、移設条件付で46年間返還できなかった。移設と切り離して無条件返還を求めていくことが、早期返還につながるのではないか。
- (5) 浦添市の西海岸開発に関する懇話会は、座長による総括で、軍港の北側案と南側案の差異はそれほど大きくない。那覇港の将来的な機能強化や発展性に着目して、那覇軍港は運用において国内法の適用がない、コントロールの利かない空間であり、将来的な不安や危惧が生じていると意見があるが、知事の見解を求めらる。
- (6) 浦添西海岸は生物の宝庫のイノーが残され、海藻類、生物多様性の豊かな、地平線にサンセットが見られる海域である。県内の有名なミュージシャンが、砂浜が埋め立てられてショックだった。今度のアメリカ軍の軍港建設にショックの連続だという心情を述べ、自然の海岸には人を集める魅力があると地元紙で述べている。知事の所見を伺う。
- (7) 那覇軍港移設問題は、既に46年間の歳月がたっていて、浦添西海岸に夕陽の見える新しいスポットができて、県民や市民の意識もきれいな自然の海を残せと変わってきている。知事の見解を伺う。
- (8) 県の掲げる持続可能な開発目標SDGsの理念に照らして、豊かなサンゴ礁が広がる浦添西海岸の価値を評価する作業を行うべきではないか。那覇港湾の長期構想や港湾計画改定は県民の声を反映させることや、コロナ後の社会やSDGsの理念を生かすべきだと思うが、見解を問う。
- (9) コロナ禍で職を失い、生活に苦しむ県民の窮状は切迫している。遊休化している那覇軍港を、莫大な日本国民の税金を投入して米軍の戦争のための軍港を造ることが政府の役目なのか。コロナ対策など市民・県民のために税金を使うべきではないか。見解を伺う。

代表質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月25日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	11分	山里 将雄(ていだネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 8月28日に安倍総理が辞任を表明しました。安倍総理の評価は別として、長期にわたり重責を担ったということについては敬意を表します。また心から御病気の回復をお祈りするものです。しかし安倍前総理は在任の間、「沖縄の心に寄り添う」と言いながら、ついぞそのような態度を示すことはありませんでした。7年8か月に及ぶ安倍政権を、知事はどう評価するか伺います。</p> <p>2 辺野古新基地建設問題について</p> <p>(1) 辺野古新基地建設に係る設計変更承認申請の告示・縦覧手続が9月8日から開始されました。申請書は軟弱地盤の具体的データを示さず工事の詳細な説明もないなど、多くの箇所ですら曖昧な内容となっています。</p> <p>ア 全体的な申請内容に対する認識・評価を伺います。</p> <p>イ 不備や疑問点については審査の過程でどのように対応するのか伺います。</p> <p>ウ 県内各所から大量の土砂、海砂利を採取する計画となっており、環境への悪影響が避けられません。見解を伺います。</p> <p>エ 現段階で何件の意見書が提出されているか伺います。</p> <p>オ 意見書は知事が判断する上で、どう生かされるか伺います。</p> <p>カ 多くの疑問点に具体的データ開示や詳細な説明をしていない変更承認申請は、承認し得るものではなく、即座に不承認の判断がなされるべきだと思いますがいかがですか。</p> <p>(2) 辺野古ゲート前において警備を受注する会社の警備員がカメラを装着して、抗議活動をする市民を撮影しています。沖縄防衛局に違法行為だと抗議しても、「受注業者が自主的判断で行っていること」と容認の姿勢を示しています。人格権を侵害する違法行為であるとの観点から、県として沖縄防衛局と警備会社にやめるよう抗議する必要があるか伺います。</p> <p>(3) 沖縄防衛局は辺野古キャンプ・シュワブ内の美謝川の切替調査の準備を進めています。それには名護市長の許可が必要とされていました。しかし稲嶺前市長が「あらゆる市長権限を行使して基地建設を止める」として許可しない方針でいたことから、市の関与を避ける工法に変更しようとしてその後取下げた経緯があります。今回の変更承認申請において関連する変更があるか伺います。</p> <p>(4) 県民があらゆる活動で自粛を余儀なくされ、辺野古の抗議行動も中断する第2波のコロナ禍の中で、防衛局が建設工事を強行したことについて見解を伺います。</p> <p>(5) キャンプ・シュワブ内の遺跡「大浦崎収容所跡」の一部について、新基地建設に伴う隊舎建設により、米側が現状保存をしないとしています。大浦崎収容所跡地は、悲惨な収容所の様子を伝える貴重な遺跡です。名護市教育員会では全ての範囲の現状保存を求めましたが聞き入れられず、やむなく記録保存の準備をしています。貴重な遺跡の現状保存について県として日本政府、米側に強く申し入れるなど対応はできないか伺います。</p> <p>3 北部基幹病院の設置について</p> <p>(1) 7月28日に沖縄県と北部12市町村との間で北部基幹病院の基本的枠組みに合意しました。合意後の経過について伺います。</p> <p>(2) 開院までの整備スケジュール、課題などについて伺います。</p> <p>(3) 建設用地の検討状況を伺います。</p>			

- (4) 事務体制について伺います。
- 4 北部生産地におけるシークワサーの立ち枯れ被害について
 - (1) 被害状況を伺います。
 - (2) 生産量、生産額にどれほどの影響があるか伺います。
 - (3) 立ち枯れの原因について伺います。
 - (4) 今後の対応について伺います。
- 5 北部テーマパークについて、7月に玉城知事は関係者と面談したとのことですが、面談内容についてお聞かせください。また、県として今後どのように関わっていくか伺います。
- 6 信号機の設置について
 - (1) 県土の発展に道路の整備は欠かせないものであり、毎年多くの道路が新たに整備されています。道路の整備では当然信号機の設置が伴いますが、道路が完成し新たな交差点ができて、信号機が長く設置されない現状があります。
 - ア 道路管理者から信号機の設置申請があつてから設置されるまでの手順について伺います。
 - イ 毎年の信号機の設置、維持に係る予算は幾らか伺います。
 - ウ 名護市内の県道84号線と市道志味屋線・市道為又中線との交差点の信号機設置について伺います。
 - エ 当該交差点が供用開始された平成30年8月から令和2年8月までの2年間に発生した事故件数について伺います。
- 7 河川の管理について
 - (1) 北部を流れる県管理の河川では河口付近で土砂の堆積と、そこに繁茂する雑草、雑木により川の流れがせき止められている現状があり、河口に近接する集落では大雨による災害を懸念する声が多くあります。
 - ア 市町村と県で河川の管理はどのように区別されているか伺います。
 - イ 県が直接管理する河川は幾つか伺います。
 - ウ 河川管理の現状と方針について伺います。

代表質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月25日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	12分	山内 末子(ていーだネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 知事就任2年目の折り返し点を迎えるに当たり、これまでの公約実現の成果とコロナ後の環境変化に対応すべく沖縄の新しい未来像をどう描いていくのか知事の今後の課題・決意を伺う。
- (2) 安倍路線の継承、沖縄の民意が置き去りにされたまま引き継がれた菅総理の誕生に何を期待し、特に沖縄問題については行政改革に複合された担当大臣という厳しい対応を示していくのではという懸念にどう向き合い、県益発展への道筋を探していくのか知事の所見を伺う。
- (3) 世界中でコロナウイルス感染拡大という難局の中、ウチナーンチュ・県人会の被害の状況はどうなっているのか。首里城火災の際には県人会等世界中から激励の声が届いた。この難局を共有し心から支え合うことが今こそ大事ではないのか。知事から世界のウチナーンチュの皆様へ連帯のメッセージを出してはどうか見解を伺う。
併せて観光の島ハワイのコロナウイルス感染状況は沖縄同様危機に瀕している。イゲ州知事との意見交換により双方の対策共有が図られると考える。知事の所見を伺う。
- (4) 米国への情報発信・基地問題等の訴え・意見交換等渡航もままならない状況だがどのように作業を進めているのか。大統領選後の対応等計画は持っているのか伺う。
- (5) 沖縄の民意や地位協定改定等、全国に向け当事者意識の議論を提起している「全国トークキャラバン」はコロナ禍の中実行されていないが、今後の計画と沖縄問題の発信の在り方について展望を伺う。
- (6) 黒人差別・人種差別に抗議異議を唱えた大坂なおみさん、全米オープンでの優勝はまさしく魂の勝利だと世界中で称賛されている。ヘイトスピーチ条例について知事は前向きな姿勢をみせているが、多様性・ダイバーシティと向き合うデニー知事ならではの国籍、人種、性別、性的指向、障害等様々な差別のない沖縄をつくるための条例制定を目指したい。対応を伺う。

2 環境政策について

- (1) サンゴ保全再生について
 - ア 地球上の海の0.2%しかないサンゴ礁に海の生き物の4分の1が暮らし、沖縄近海の日本一のサンゴ礁の保全について世界から注目されている。SDGs14「海の豊かさを守ろう」で2030年に世界のサンゴは約9割死滅すると言われており、大事なサンゴを守る対策を伺う。
 - イ サンゴの移植についてこれまでの他県や本県の実態・移植成功率・生存率を伺う。
 - ウ 深刻化するサンゴ礁の減少化対策として条例制定も視野に入れ強化を図るべきだと考えるが見解を伺う。
- (2) 気候変動非常事態宣言の実施について、さきの委員会において9月実施の取組とあるがその実施内容、スケジュールを伺う。
- (3) 有機フッ素化合物(PFOS等)を含む泡消火剤流出問題について
 - ア 調査結果報告で、事故の原因が米兵のバーベキューであること、消火システムの作動の対応ができなかったことなど、驚きと怒りを禁じえない。軍隊としての危機管理体制の欠如を強く指摘し再発防止策の徹底を求めるべきだが、県の認識と対応を伺う。
 - イ PFOS汚染について、周辺土壌の検査と河川から海域への流出により牧港漁港内「水

産養殖研究センター」への地下海水などの水質検査など検査区域の拡大も必要だと考えるが対応を伺う。

3 那覇港湾施設の移転について

- (1) 国から南側案は困難という説明後、浦添市が受け入れたという報道になっているが、それにより移設が早まるというイメージがある。その議論はどう展開していくのか伺う。
- (2) 浦添ふ頭地区調整検討会議の役割・目的・現状について伺う。
- (3) 民港の位置・形状・絵を描くという総合的計画がないまま、港湾移設のスケジュールが進められるのか伺う。

4 新型コロナウイルス感染防止・経済対策について

- (1) 第3波に向けてこれまでの知見をまとめて対策強化の準備が急がれる。行政・医療界・観光・経済界等業種を超えた連携・システムづくりが重要だと考えるがその取組について伺う。
- (2) 高齢者施設や保育所等の社会福祉施設・医療機関内クラスターの発生が重症化・死亡者の増加につながったとの説明がある。発生の徹底究明・今後の集団感染対策を講じることが急がれる。取組について伺う。
- (3) 米軍基地内の感染者発生状況と対策、基地外居住者の把握と対策、基地従業員の感染防止対策、雇用の安定の確保が求められているがどのように進められているか。
- (4) 経済的弱者と言われる独り親家庭、学生及び低所得者に対する支援体制の課題と対策を伺う。
- (5) 県内高卒者の求人倍率が今年3月の1.84倍から7月現在で0.83倍と急減悪化の報告がある。コロナ禍でこの現状を打破する対策は講じられているのか。取組状況を伺う。
- (6) これからの経済動向をどのように推察しているのか。経済再生の時代に対応するには、利益率を高める働き方改革や企業努力だけで成し遂げられるものではない。県の経済戦略の本気度が問われる。見解を伺う。
- (7) 食産業及び農水産業の新たな市場の展開・システムの構築が求められる。取組を伺う。
- (8) 全国で修学旅行の実施の検討が始まった。県でもしっかり対策を取り、子供たちが安心して旅行ができるよう環境整備を急ぎたい。現状はどうか。

5 万国津梁会議の方向性について

- (1) 「SDGsに関する万国津梁会議」から出された中間報告、沖縄SDGs実施計画案について県の認識を確認する。
この成果を踏まえて2030年まで続く取組を啓発、推進体制をどのように行っていくのか、県自らイニシアチブをとるのか、プラットフォーム等の構想について伺う。
- (2) SDGsは女性や若者の参加が重要視されており、「質の高い教育」を目指すための教育委員会としての取組実践事例及び今後の教育現場への推進可能性について伺う。
- (3) 米軍基地に関する部門、SDGsともに沖縄振興計画との関係性について伺う。

6 エネルギー政策について

- (1) 電力自由化から4年、県内の現況・課題及び今後の方向性について伺う。
- (2) 石炭火力発電所休廃止問題で県内のエネルギー政策はどう変わるのか。エネルギービジョン計画を伺う。

7 教育行政について

- (1) オンライン教育の推進状況は順調か。教員の指導体制や家庭での機器の設置環境等、格差につながる懸念事項への対応はなされているのか伺う。
- (2) 夜間中学校・フリースクールの整備状況取組について伺う。
- (3) 特別支援学級の現状と課題、特別支援高等学校への連携について伺う。

8 土木行政について

- (1) 下地島宇宙港事業が合意されたが夢のある事業に期待が高まる。事業概要、経済・地域振興にどのような効果が期待されるのか。事業のスケジュールについても伺う。
- (2) 建設設計業務委託の最低制限価格引上げを求める声が高いが方向性を伺う。

9 農林行政について

- (1) 本県の基幹産業としてのサトウキビ生産について、本島内のキビ農家を守る観点から老朽化しているゆがふ製糖工場の早期の改善・対策が求められているが県の対応を伺う。

10 行政運営について

- (1) 首里城火災・豚熱問題・コロナウイルス対策と度重なる危機回避のために県庁職員、教職員の過労死寸前の勤務実態の数字が出たが、その現状と対策について伺う。
- (2) コロナ対策としての支援金詐欺が発覚した。県の状況・対応策について伺う。

代表質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月25日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	15分	平良 昭一(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス対策について</p> <p>ア 県内空港、港湾での水際対策について伺う。</p> <p>イ 高校生の就職・進学、大学生の就職対策について伺う。</p> <p>ウ 落ち込んでいる結婚披露宴と関連する経済対策について伺う。</p> <p>エ 危機的な状況下の沖縄観光の復活に向けた取組について伺う。</p> <p>オ 中止された小・中・高の遠足の実施とバス利用での県内旅行の推進・助成に対する考え方を伺う。</p> <p>カ 今後の第3波をどのように想定し対策を行うのか伺う。</p> <p>キ 症状が酷似しているインフルエンザ対策について伺う。</p> <p>(2) 那覇港湾施設の浦添市移設について</p> <p>ア 知事は推進する考えであるのか伺う。</p> <p>イ 那覇市長との連携について知事の見解を伺う。</p> <p>ウ 那覇港湾施設返還による本県への経済効果を伺う。</p> <p>エ 那覇港湾施設跡地の利活用について知事の見解を伺う。</p> <p>(3) 北部基幹病院の進捗状況と供用開始時期について伺う。</p> <p>(4) ドクターヘリMESH再稼働と県の対応について伺う。</p> <p>(5) 海岸の漂着ごみ対策について伺う。</p> <p>(6) CTプロジェクトについて県の対応を伺う。</p> <p>(7) 来年予定されている世界のウチナーンチュ大会について伺う。</p> <p>(8) 中華民国(台湾)の世界保健機関(WHO)等の国際組織への参加について、知事の考え方を伺う。</p> <p>2 企画部関係について</p> <p>(1) 離島のガソリン価格対策の対応と成果について伺う。</p> <p>(2) 南北縦貫鉄軌道計画の県の考え方と進捗状況について伺う。</p> <p>(3) 大型MICE計画について伺う。</p> <p>3 土木建築部関係について</p> <p>(1) 本部港国際クルーズ拠点化事業整備について</p> <p>ア 官民連携で進める本部港国際クルーズ拠点化事業整備の進捗状況について伺う。</p> <p>イ ゲンティン香港が整備するターミナルビルの進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 県道歩道の雑草対策について</p> <p>ア さきの6月議会で土木建築部長は、道路植栽維持管理業務の試験的な性能規定方式を今年度実施すると答弁したが取組状況を伺う。</p> <p>イ 6月議会で知事は、世界水準のリゾート観光地にふさわしい道路沿道景観の形成に向けてリーダーシップを発揮して取り組むと答弁したが改めて決意を伺う。</p>			

- (3) 国道、県道の案内標識劣化と白線劣化の対策について伺う。
 - (4) 磁気探査業務における入札参加資格について県の考え方を伺う。
 - (5) 建設設計・土木コンサル業務等の最低制限価格の引上げについて伺う。
 - (6) 中城湾港の長期構想策定に向けて開催された中城湾港長期構想検討委員会について
 - ア 中城湾地域振興協議会の連携と位置づけについて見解を伺う。
 - イ 自転車活用推進法の基本理念、サンライズ推進協議会の策定した事業の長期構想への取り込みをどのように考えているか見解を伺う。
- 4 農林水産部関係について
- (1) シークワサー立ち枯れ被害対策について伺う。
 - (2) 台風9号、10号の被害状況について伺う。
 - (3) コロナの影響により県内製糖工場に就労する県外及び島外季節労働者の確保が厳しい。その対策について伺う。
- 5 教育関係について
- (1) 30人以下学級完全実現について伺う。
 - ア 全学年実施について伺う。
 - イ 県独自の少人数学級の下限条件、25人以上の撤廃もしくは緩和について伺う。
 - (2) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法いわゆる給特法改正の問題点について伺う。
 - (3) 学校現場でのコロナ対策に関わる教職員の負担・不安について伺う。
- 6 座間味浄水場の建設について
- (1) 紆余曲折があったが、8月7日に知事から高台の既存浄水場用地に建設との発表があり、方向性が決定したと思う。今後の早期建設に向けた取組と課題について伺う。

代表質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月25日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	15分	上原 章(公明党)	知事 関係部長
質 問 要 旨			
<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 感染拡大防止と社会経済活動の両立について知事の見解を伺います。両立について県はどのような方針・戦略で取り組んできたのか伺います。</p> <p>(2) 第1波に対し最初の緊急事態宣言が発令され、県内のホテルをはじめ多くの観光施設がやむなく休業しました。その後、本県は医療、教育等多くの関係機関や県民の協力で68日間感染者ゼロを続けることができました。しかし水際対策や検査体制の強化等、第2波への備えについて、県の対応の遅れや効果に疑問の声が寄せられています。結果的に第2波が発生し感染者が急増したことを含め知事の見解、原因、対応について伺います。</p> <p>(3) 今後、第3波をどのように想定し、どう対応・準備をしようとしているのか。次の波に備えて、医療提供体制の確保、不足する医療人材の適切な確保、PCR検査の充実、保健所機能の体制強化、オンラインによる医療支援等、県の取組を伺います。</p> <p>(4) 那覇空港での抗原検査に伴う旅行者の待機場所が「適切でない」との指摘があるが、国際線再開後の抗原検査の体制を含め取組を伺います。</p> <p>(5) 県内の医療機関・介護事業所の関係者から、経営影響調査や緊急財政支援等の強い要請があるが、大変重要な取組だと考えます。知事の見解・対応を伺います。</p> <p>(6) 濃厚接触者へのPCR検査の実施と宿泊施設の確保等支援が必要と思うがどうか。</p> <p>(7) 妊産婦へのPCR検査費用の助成について取組を伺います。</p> <p>(8) 感染状況について、県と市町村との情報伝達・共有が確立されていないとの声があるが対応を伺います。</p> <p>(9) 政府が「GoToトラベル」の対象地域に東京都を追加する方針を決めたことについて、同事業の評価を含め知事の見解を伺います。</p> <p>(10) 本県の観光産業の復活は県経済の回復に大きな影響を与えます。県外需要や修学旅行の喚起等含め取組を伺います。</p> <p>(11) 「官・民・医の連携」について強化する必要があると思うが、実態、対応を伺います。</p> <p>2 那覇港湾施設(那覇軍港)を浦添埠頭の北側に配置する案について、知事の見解及び今後の取組を伺います。併せて那覇港湾施設の跡地開発について伺います。</p> <p>3 台風9号、10号の被害状況、支援、対策について伺います。</p> <p>4 南大東村の県が所管する農業用水ため池整備事業・旧東第2地区の建設が遅れているが対応を伺います。</p> <p>5 県内の違法な金融業者(無登録営業、高金利違反)の取締りについて伺います。</p> <p>(1) 被害状況・推移、対策、効果</p> <p>(2) 捜査の人員配置は十分か</p> <p>6 鉄道の導入に伴う「費用便益費」(B/C)について、県と国の試算で大きな開きがあるが対応を伺います。国は開業後40年間の累積赤字を2080億円と想定し、開業は「最速で2040年度」としています。見解及び県の試算と国との連携はどうなっているのか伺います。</p> <p>7 県内の子ども食堂及びフードバンク支援は大変重要と思うが、取組・効果を伺います。</p>			

代表質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月25日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	15分	大城 憲幸(無所属の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 新型コロナ対策について</p> <p>(1) これから秋冬に向け第3波をどのように想定しているか伺う。</p> <p>(2) 水際対策の強化や発熱者及び濃厚接触者相談等はどう取り組むか伺う。</p> <p>(3) OCVBは観光消費額をマイナス5000億円と予想、経済波及を考えるとその影響は未曾有となるが、県経済をどう支えるか伺う。</p> <p>(4) GoToトラベルの状況とイートへの取組を伺う。</p> <p>2 沖縄振興計画について</p> <p>(1) 1～4次の計画における県内総生産及び県民所得目標の達成状況、また5次の目標と見通しを伺う。</p> <p>(2) コロナ禍の沖縄、外国へ出られない富裕層、政府も進めるテレワーク、香港の混乱等をどう戦略的に生かすか伺う。</p> <p>(3) コロナ後の新たな沖縄の未来像には規制緩和と民間活力は不可欠であり、まず空港の民間委託や電力料金の低減に向け取り組むべきと考えているが所見を伺う。</p> <p>(4) 鉄軌道の費用対効果について県と国の認識に違いがあるようだが今後の取組を伺う。</p> <p>3 農林水産振興について</p> <p>(1) 青果市場の民間活力による建設を提言してきたが、取組状況を伺う。</p> <p>(2) 本島唯一のゆがふ製糖工場建設について</p> <p>ア 建設用地や事業の検討状況を伺う。</p> <p>イ 民間活力や他産業との連携を積極的に進めるべきと考えるが所見を伺う。</p>			